

肝ぞう通信

第3号 《肝臓病と血液検査》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階総合相談室

受付時間：

平日 9:00～15:00
土曜日 9:00～12:00
(第2・4土曜日除く)

豆知識

血液検査には食事の影響を受ける項目があります。早朝空腹時採血が基本となりますが、投薬などのタイミングもありますので、食事の摂取は医師の指示に従って下さい。

次回号

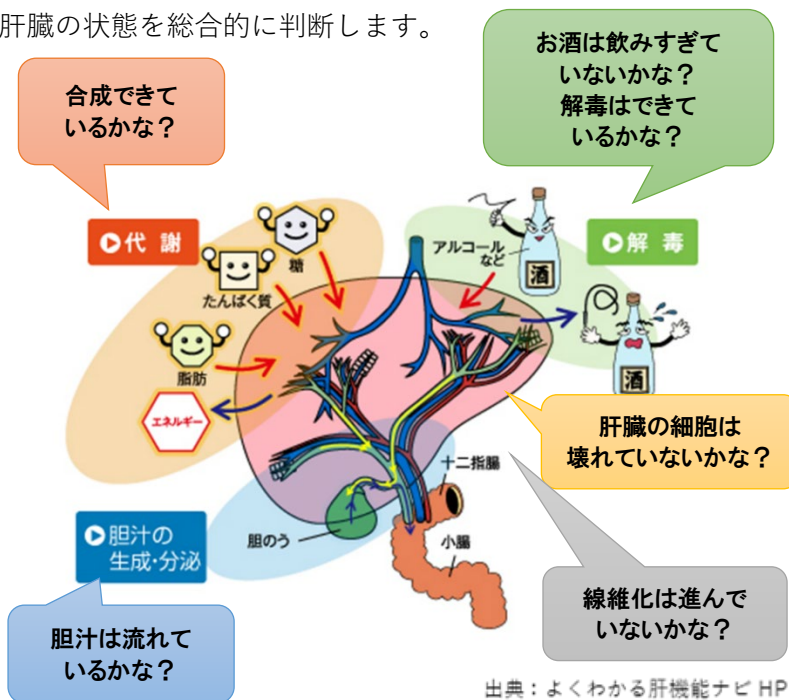
テーマ：B型肝炎
11月2日発行予定

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

なぜ血液検査をするのですか？

肝臓は「体の化学工場」と呼ばれ、たくさんの物質を合成したり、貯蔵したり、お薬やお酒などを無毒なものに変える解毒作用ももっています。血液中にはたくさんの物質が含まれており、様々な検査項目を組み合わせる血液検査を行い、肝臓の状態を総合的に判断します。



肝細胞が壊れていないかを調べる検査 (AST (GOT) ・ ALT (GPT) ・ LD)

肝細胞の中にあるAST, ALT, LDなどの酵素は、肝細胞が壊されることによって血液中に溢れ出てきて値が高くなります。ALTは肝臓だけではなく心筋や赤血球、骨格筋などにも含まれており、これらが障害されることでも上昇します。アルコール性肝炎では、ALTは軽度の上昇、ASTは著しく上昇します。